

## 学校トイレの洋式化について問う

**田口市長** 公共施設等総合管理計画の個別  
施設計画で計画したい



**松戸千秋**  
議員

**松戸** 市内学校の洋式トイレへの改修要望状況はどうか。また、学校のトイレの洋式化整備計画の検討がされているのか。

**教育部長** 現在、市内学校のトイレ洋式化率は、40%となっており学校現場での洋式化への要望は、高くなっています。

学校トイレの洋式化に特化した整備計画は策定していませんが、子供たちの健康面への配慮や快適に学校生活を送れる環境整備を図る観点からも、トイレのドライ化と洋式化は早急に取り組むべき課題でありますので、改修に向けて検討をしていきます。

**市長** 公共施設等総合管理計画の個別施設計画の中で計画をし、実施に向けて検討したい。

## 発達障害に対する支援について問う

**保健福祉部長** 横断的な支援をしてきたい

**松戸** 発達障害の早期発見のために、こういった取組をしているのか。

また、早期発見の取り組みとしてMICHAT（※）を活用してどうか。そして、今後どのような支援体制を考えているのか伺う。

**保健福祉部長** 早期発見の取組としては、赤

ちゃんを対象とした個別訪問や乳幼児健康診査が早期発見の重要な時期であると捉え、健康診査を実施しています。

また、発達障害を持つ子供とその親への支援につきましては、臨床心理士と保健師による個別の親子相談を開催しています。

MICHAT導入については、今後研究していきます。

**教育部長** こども園等と小学校が互いに連携を図り、教育的ニ

ズのある幼児、児童の早期発見、早期対応ができるようにしています。

また、発達障害の子供に対する特別支援教育支援員等を配置し併せて、教職員力量を高める研修を実施します。さらに、保護者の不安等は、学校だけでなく、スクールカウンセラー、市の心理相談員等の幅広い窓口で、相談に応じています。まずは、現行体制の見直しを早急に図り、今後の支援体制について研究したい。

※MICHATとは…

ジョージア州立大学のロビンズ博士が考案した乳幼児自閉症チェックリスト



若松宏幸  
議員

## 地域包括ケアによる共生社会構築を問う

### 保健福祉部長 介護事業者間のネットワークを構築

**若松** 地域包括ケアとは、高齢者が最後まで住みなれた地域で住み続けられるための地域の包括的な支援・サービス提供体制のことであり、これからの福祉社会は、地域の特色を最大限に生かして、その場所で暮らす人々の自発的な互助のネットワークを基盤とした支え合いの共生社会を目指すべきと考える。

そこで、健康寿命を伸ばす環境整備や在宅介護、生活支援の担い手の確保、高齢者の見守りの強化、生活困窮問題などの諸課題への対応について伺う。

### 保健福祉部長

健康寿命を伸ばす環境整備については、市内の老人クラブを主体とした高齢者の生きがいと健康づくりの支援に努めます。また、介護支援等の担い手確保については、各事業所の意向調査を踏まえ第7期計画に盛り込むことを協議します。さらに見守り対策については、民生委員等の協力を得て給食サービス事業等の推進や介護事業者間のネットワークを構築し強化していきます。

生活困窮問題では、年金収入のみでは、生活が苦しいという声もありますので、シルバー人材センターの活用を含め高齢者の社会参加を進めます。

## 災害発生時における住民主体の避難所運営を問う

### 田口市長 地域住民への意識づけをし、

### よりよい体制づくりを検討

### 若松

地域防災計画では、避難所運営マニュアルを整備することになっている。

一方、避難所運営マニュアルが整備されていたにもかかわらず、自治体職員が初動期の避難所運営にかかわったことにより、災害対応に支障を来すケースが見られる。そこで、市の被災者関係職員以外の者でも避難所を立ち上げることができるよう、わかりやすい手引の整備は、されているのか。また、災害発生時の避難所運営方法や避難所支援班はどのように組織され、災害時にはどのように運営するのか伺う。

### 市長

避難所運営マニュアルは、平成25年度に策定し具体的な避難所運営について項目ごとにまとめておりますが、市、避難者、地域住民との協力関係が促進され、円滑な避難所運営が図れるよう、わかりやすい概要版の作成も必要であると考えます。

避難所運営は、最初に到着するのは市民であることが想定されるため、初期の避難者の中から、自治会の会長などが中心となった応急的な避難所の開設と運営を行う組織をつくることとなっています。避難所支援組織は、事務局が中心となり各支援班の調整を行います。